

第 30 回光が丘第八保育園民間委託化対策協議会
平成 18 年 3 月 18 日(土) 光が丘図書館

協議会検討事項記録

- 議題 1 前回第 29 回協議会の振り返りについて
2 ピジョン職員の退職問題について

1 前回第 29 回協議会の振り返りについて

(区側) 前回ピジョン保育士の退職について説明し、その中でピジョンからフォロー体制の要請があった。区としては 4 月以降巡回による支援を示していたが、保護者からの強いフォローの要望があり、これを引き取ったと認識している。

(保護者側) 選定委員会の指摘事項について具体的な対応策が示されていないとの認識である。

2 ピジョン職員の退職問題について

(区側) 事態を重く受け止め、4、5 月の 2 ヶ月に保育士 4 名を配置しフォローにあたることとした。また、ピジョンに対し 3 月 17 日に次のような内容で改善勧告を出した。

(1) 問題の原因を究明し、同じ原因で退職者を出さないこと。

(2) 短時間保育従事者の増員配置および 3 月退職予定者の補充配置、3 月中の保育体制の確立

(3) 本部および園のマネジメント体制の見直しと 3 月中の確立

(4) 保護者との信頼関係を築く対応策の提示

(保護者側) フォロー 4 名の具体的配置はどうか。

(区側) 0 歳の高・低月齢に 1 名ずつ、1 歳に 1 名、2～5 歳に 1 名と考えている。

(保護者側) 4 名、2 ヶ月ということにどのような背景があるのか。

(区側) 当初、巡回を考えていたが、かかる事態を受け区職員の退職者、欠員、産休者等の調整を行い、ぎりぎり 4 名の継続勤務を判断した。

(事業者側) 4 名の継続配置をもって、運営を建て直していきたいと考えている。

(保護者側) 改善策の提示期限が 3 月 24 日であり、翌 25 日に協議会を設定する必要があると思うが、そこで改善策は披露されるのか。

(区側) 協議会で示す。改善策は実効性のあるものでなければいけないと考えている。

(保護者側) 事業者の今回の問題は非常に重大な問題であり、直営に戻すべきと考える。ピジョンとして今後の体制建て直しの具体的プランを提示願いたい。

(事業者側) フォロー職員の配置、支援調整をふまえ改善策を提示したい。5 名プラス 7 名計 12 名の保育士を配置し、当番体制を組む。3 月 14 日に 3 名、3 月 18 日に 1 名、3 月 22 日に 2 名、3 月 24 日に 3 名が勤務開始する予定である。短時間保育士が当初半分で運営できる判断だったが、不足な点がわかり、採用が遅くなったためこのようになった。

(保護者側) 退職者は増えないか。

(事業者側) 現在 1 名が退職の意思表示をしている。

(区側) 前回、巡回指導にて対応のところを 4、5 月にフォロー対応として、ピジョンに体制建て直しの勧告をした。8 人目の退職者は認識しており、この数をベースとしている。

(保護者側) 9 人目の退職者がいると聞くと勧告に違反していることになる。

(区側) 9 人目が確かであればかわってくる。

(保護者側) 2 ヶ月のフォローを無駄にするのではないか。現状認識もなっていない。一週間後の検証は区としてどう行うのか。

(区側) 報告書および現地確認を含めて、勧告の状況を判断する。

(保護者側) 2 ヶ月終了後、検証結果が不十分だった場合はどうなるか。

- (区側) 課題についての判断はあるが、2ヵ月後は巡回に移行する考えである。
- (保護者側) 一週間後の改善策がしっかり示されなければ、フォローに対する判断は保留する。
方法はまかせるが新規入園者に対する光八の現状を説明してほしい。また、4月以降の仕様書は次回出るのか。契約はしてないのか。
- (区側) 次回提示する。契約はぎりぎりまで調整を要している。
- (保護者側) 運営委員会については次回協議する。

以上

次回日程 日程調整し連絡する。